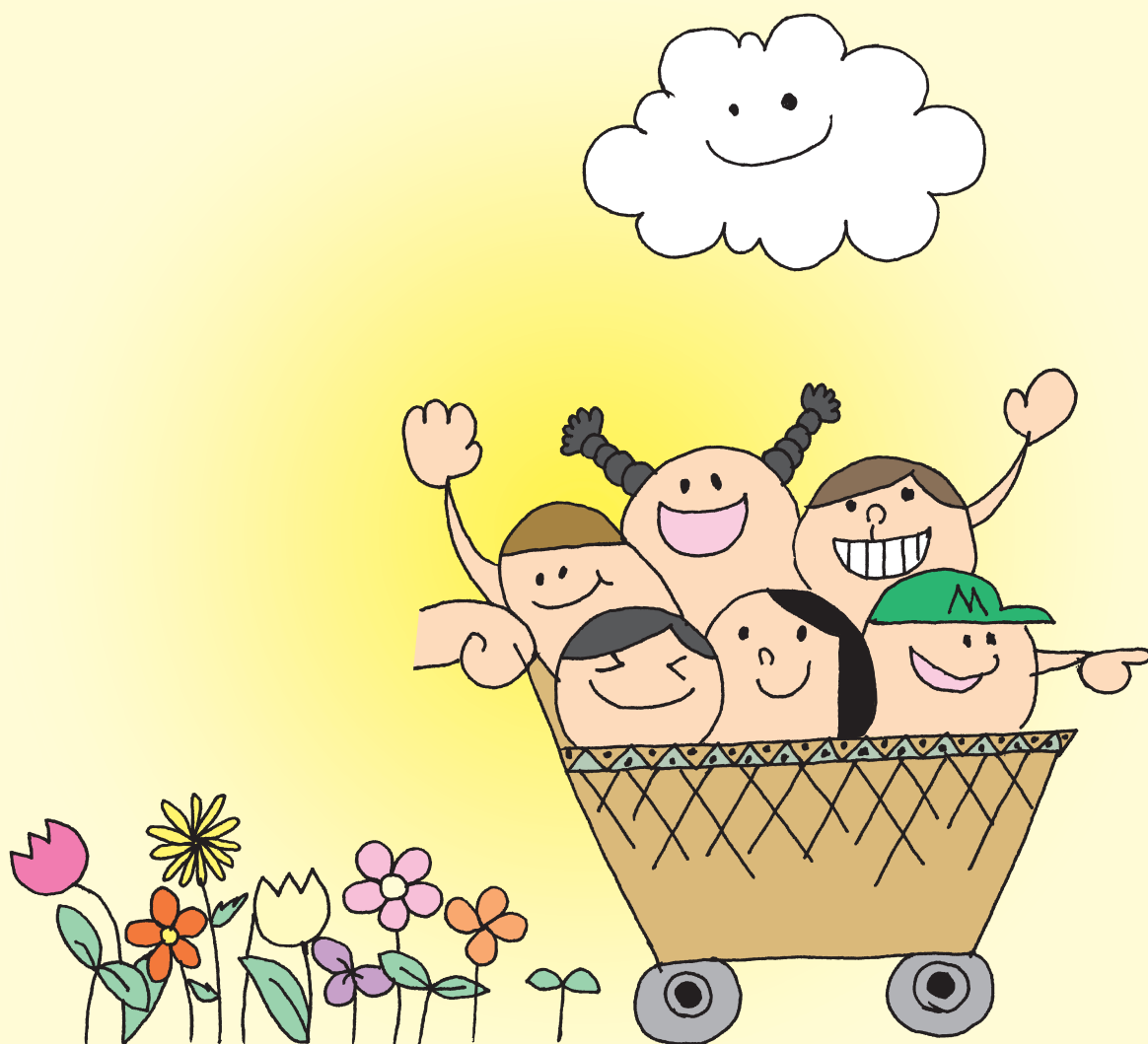


地域の実情に応じた子育て支援をすすめよう

子育て支援の事例集③



三重県民生委員児童委員協議会

児 童 福 祉 委 員 会

発行にあたり

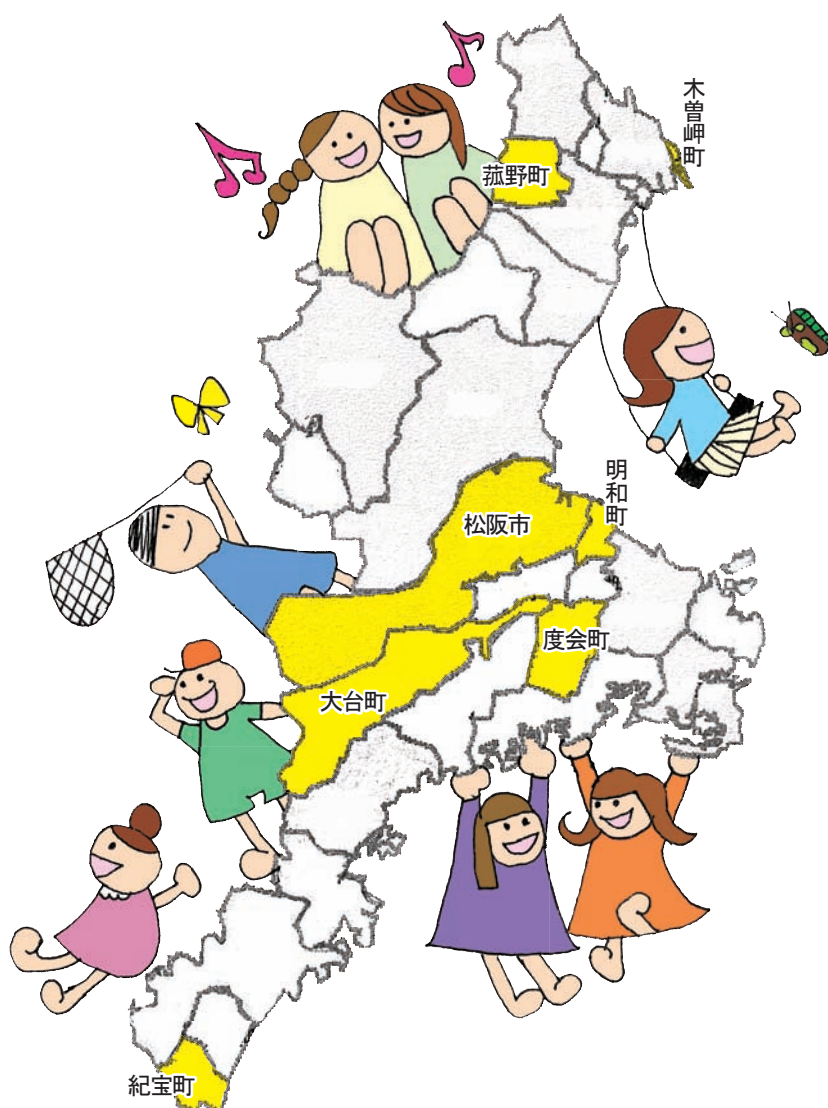
児童福祉委員会では、本年も未就学児の支援についての活動事例を紹介します。

さて、3年間で24市町を紹介しましたが、どの地区でもそれぞれの実情に応じた子育て支援が行われており、民生委員児童委員の皆様と子ども達の笑顔が浮かんできます。今後も支援活動が続けられ、この事例集が少しでも参考になれば幸いです。ご協力ありがとうございました。

本事例集は、新任期の全委員様に届くように編集しました。尚、事例集①、②につきましては、三重県社会福祉協議会のホームページに掲載しております。

最後のページに児童福祉委員会の3年間の委員会活動についての感想を掲載していますのでご覧ください。

(委員長 丸橋 恒子)



木曽岬町の子育て支援について

木曽岬町は愛知県との県境に位置し、人口は約7,000人ほどの小さな町です。年間の出生者数についても40名～50名程度で推移していますが、子育て支援としては、役場の実施する常設の子育てサロンや保護者で運営する学童保育所などがあります。人口の少ない中であっても子育て支援については重要性が増していると感じています。

また、平成20年度には、町内2ヶ所の保育園と1ヶ所の幼稚園が幼保一体化により、2ヶ所の幼稚園保育園となりました。

木曽岬町民生委員児童委員協議会では、この2ヶ所の幼稚園保育園と年間を通じて関わりを持ちつつ、子育て支援を行っています。「民生委員一日保育士」では、委員全員参加で年齢別の教室でそれぞれの委員が園児と一緒に、遊戯をしたり、絵本を読んだり子ども達と直接関わっており、民生委員・児童委員の存在を少しずつですが、身近に感じてもらっています。

また、幼稚園保育園の年間行事の中の夕涼み会では、園児、保護者、地域住民などが参加しますが、この中で園庭でのフルーツポンチやゲームコーナーなどの模擬店の協力をしています。

今後の課題としては、未就園児等への子育て支援活動の実施で、関係機関と協議しながら推進していきたいと考えています。



絵本の読み聞かせ



保護者と一緒にの模擬店

地域に根ざした子育てサロン



菰野町では、平成 14 年に主任児童委員の支援活動の一つとして少子化防止、虐待防止につながればと、小学校区 5 ヶ所で子育てサロンを始めました。未就園児を持つ親たちが地域で友だちが作れる場所として、子育ての不安を少しでも軽減できることを目的とし、子育て中でも一人一人が輝けるよう、子育てサロンの利用者たちが企画運営をしています。

誰でも自由に参加でき、地域性が生かされた特色あるサロンをしています。参加料は親子 1 組 100 円で茶話会が中心ですが、季節に合わせた行事をしたり、町内に住んでみえる方々に時々サロンに来ていただいて、それぞれ得意とされている遊びなどで楽しませてもらい、サロンを支えていただいています。

子育てサロンも 10 年が過ぎ、今では菰野町の子育て支援の場所として位置づけられています。



地域のボランティアの人形劇



水遊び

(キャンプ場にご協力いただいています)



クリスマス会

(サンタさんは地域の民生委員・児童委員)



みんなで手遊び



飯高町の子育て支援



1. 地域みんなで子育て

過疎地域で少子高齢化の飯高町では高齢者も子どもたちも関わり合いながら生活をしています。2010年度、「子育てを楽しむ会」の皆さん（親子）と老人クラブの皆さんとの共催でさつま芋作り、芋ほりをしました。また、飯高西中学校へ親子で登校し、3年生の皆さんと「福祉と人権」の授業で2時間ほど交流をしました。2011年4月に地域や保護者の方々の署名、要望活動があり、やまなみ保育園に念願の子育て支援ルーム「やまっこ」が新設されました。飯南高校へ親子で登校し、保育士をめざす生徒さんとの「楽しく遊ぶ会」に参加していただきました。

2. 飯高版リフレッシュママの会

松阪市民生児童委員協議会連合会主催で「リフレッシュママの会」が子ども支援センターの体育館で行われていますが、遠方のため、飯高町からの参加者はありません。そこで、飯高地区の方のための飯高版リフレッシュママの会を飯高町内で開催をしています。4月～3月まで親の希望を聞きながら、人形劇、コンサート、ベビーダンス、親子3B体操、親子ヨガ、おやつ作り、リトミック、お話会、ピラティス、アレンジフラワー、クリスマス会等を行ってきました。2011年度登録は14組（参加延べ人数240人）2012年度の登録は22組（参加延べ人数190人 8月、1月、2月お休み）でした。2013年度も実施しており、飯高地域振興局からホームページにのせていただきました。

3. 子育て支援の連携

2011年度から保育園、学校や地域、保護者との関わりを自分たちから持ちたいと思い、子育て支援グループ「さくら」の皆さんと人形劇グループ「MJ8」を立ち上げました。

手作りの人形劇で、2011年度の劇の題「みんなみんなよっといで」、2012年度「みんななかよし」は好評でした。リフレッシュママの会、飯高地区の保育園、老人会、文化祭、施設で観ていただきました。様々な団体、施設で観ていただくことは、地域の子育て支援への関わりや見守りをお願いできる良い機会です。子育て繋がりをこれからも大事にしていきたいと思います。



飯南キッズいきいきクラブでの「MJ8」の人形劇



親子3B体操



子育て支援センター「おひさまひろば」



明和町では、地域子育て支援拠点事業の一環として、町内3カ所に子育て支援センターを開設しています。今回は、その一つである「おひさまひろば」を紹介します。

「おひさまひろば」は、子育て中の親子が気軽に集い、親同士・子ども同士の友達づくりや情報交換などの相互交流により、子育ての不安や精神的負担の軽減を図る場となるよう、年間通じて様々な行事を行っています。

週に3日開放しており、主任児童委員1名が常に運営に携わっています。

年間の主な行事

おにぎり作り、親子ふれあいヨガ体操、はみがき指導、おはなし会、お団子作り、ミニ運動会、クリスマス会、豆まき、お別れ会

また、日常の子育てに関する不安・悩みなどの相談も受け付けており、必要があると思われる場合は、保健師に引き継ぎ、MCネット(明和町子ども家庭支援ネットワーク)の実務者会議にも随時参画するなど、未然防止・早期解決に向けた継続的な関わり・専門的な相談に繋がれるよう、子育てに不安や困難を抱える家庭の早期発見・早期対応に努めています。



月1回開催のおはなし会



みんなで手遊び

季節行事やおはなし会・手遊び等
毎月2回、行事をしてみんなで楽しく交流を深めています。



クリスマス会

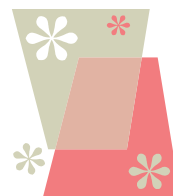


大台町の子育て支援

私たちの町では「子育て支援センター」が中心となって活動をしています。年間を通じて、子育て相談・絵本の読み聞かせ・親子体操・リトミックなど様々な支援事業が行われ、又、お茶どころならではの、お抹茶を頂く「ちゃちゃちゃ会」も行われています。



ちゃちゃちゃ会



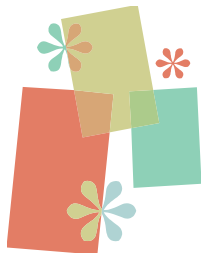
各地区では「ババママキッズ」「さくらんぼ」「ちゅうりっぷ」「バンビーズ」と加えて「おおきなさくらんぼ（卒業生で構成、活動は隔月）」という名の自主グループがあり、週1回の活動を続けています。グループ同士の交流もあり、母親同士が親睦を深め、ストレスの解消、子育てについての知識の習得に繋がっています。

離乳食教室「かみかみ教室」では、お母さんが離乳食を作りについている間、民生委員・児童委員がボランティアで子どもたちと楽しい時間を過ごしています。

それぞれの活動にお手伝いとして参加をし、「地域で子育て」を目標に頑張っています。



子どもたちとの楽しいひととき





～子育て支援は笑顔から～

度会町では、平成20年4月にセンター型の子育て支援センターが開設され「わたっこ広場」として気軽に集い楽しく自由に遊べる場を提供しています（月～金曜日）。他に出張広場や子育て支援教室、育児相談等もあり、毎月充実した活動をしています。

また、登録制の年齢別クラブ「遊・友・YOUくらぶ」もあり、1歳児の「ひよこグループ」2歳児の「うさぎグループ」で親子で一緒に楽しんでいただいています。

いつも「子育て支援は笑顔から」の気持ちで自分達が常に笑顔で接するように心掛けています。お母さんや小さい子ども達からも自然に笑顔が返ってきて楽しい会話に繋がっています。

まだまだサポートとしての役割でしかありませんが、これからも笑顔を絶やさず子育て世代に笑顔になっていただけるような支援をしていきたいと思っています。

私たち度会町民児協は「安心して子育てが出来るまちづくり」の一助として、24名全員で取り組んでいます。未就学児への関わりとしては、保育所での交流会や子育て支援センターで行う伝承あそびなどがあります。



伝承あそび



読み聞かせ

それに加えて2名の主任児童委員は、ふれあう機会を多く持てるよう隔月に支援センターを訪問したり、度会町すべての子ども達が把握出来るようにと毎月、乳幼児健診時に声かけや健診のお手伝い、見守りや託児等と楽しく遊びながら親子のサポート活動を行っています。



保健センターで健診のお手伝い



紀宝町の子育て支援について



紀宝町は、『海、山、川の自然に抱かれ、ともに輝き創造するまち』を将来像として、新たなまちづくりをすすめています。人口は11,830名で、少子高齢化がすすんでいますが、子育て支援についていろいろな取り組みを行っています。

民生委員児童委員協議会でも社会福祉協議会の子育て支援事業の一つをお手伝いしています。月1回福祉センターで行われる、親子で参加する『リズムリトミック』があります。ピアノ教師 小阪先生の指導のもと リズムにのって身体を動かす楽しさ「見て」「聞いて」「触れる」ことにより感じる心、想像力、創造力を養うことをねらいに、親子で音楽に触れながら楽しい時間を過ごしています。



先生と一緒にリズム遊び



親子で一緒にリズムにのって

私たち民生委員・児童委員と主任児童委員は、児童部会の担当者が2名、受付と兄弟で来ている子の下の子の赤ちゃんの子守りや、反対に赤ちゃんから離れられないお母さんに対して、上の子どもと一緒にリトミックに参加して楽しい時間を共有しています。

ときには、お母さん達から子育ての悩みを相談される事もありますが、そんなときは先輩ママとしていろんなアドバイスをしています。また、子育て中のお母さんや子どもたちから、たくさんのパワーももらっています。

この事業も今年で7年目に入ります。音楽を通して親子のスキンシップやお友達をたくさん作ったり、親も子も笑顔いっぱい場所として、これからも継続して欲しい子育て支援事業の一つです。



【3年間をふりかえり】

★子育て支援について、これ程多くの方々に参加していただき、またそれぞれの地域の伝統と文化の中で育まれた支援活動を実施している事について、驚きと頭の下がる思いがしました。また、いただいた原稿を修正する際、書いていただいた方の考え方や表現等最大限生かしながらの作業は、大変煩雑で難しく感じました。三年間を通じて私自身感じたことは、県内何処へ行ってもその地域に根ざした良い取り組みが存在し、子ども達の将来を見据えた特色あるその地域でしか出来ない活動が多く存在した事と、それらを地域の中で実践し貢献している同志の方々に感謝申しあげたい。

★児童福祉委員会で3年間「子育て支援の事例集」の編集にたずさわり、県内各地で民生委員・児童委員や主任児童委員の皆様が子育てサロンや支援センターで多くの活動をされており、ほぼ全域で関わりを持っていただいていると実感しました。すでに取り組みをされている地区もあろうかと思いますが、こういった場所になかなか参加できない親子さんにむけてどのような方法ですすめていけば良いかが今後の大きなテーマだと思うのです。更に知りたい事例については、事務局を通じ詳細を聞くなどして、ステップアップした活動を期待しています。

★育児不安や地域の子育ての低下など、子どもを育てる環境が変化しつつある昨今、地域全体で子育て家庭を支援し、親の子育ての悩みを軽減し子ども達を育てていくことが大切になっています。地域の実情に応じた子育て支援をしようと「子育て支援の事例集」発行、それぞれの地区活動紹介で少しでも参考になったのではと思っています。私自身も皆さんと良い勉強をさせていただきました。これからも、児童福祉委員会にご協力よろしく願いいたします。

子育て支援の事例集③

平成 25 年 11 月 30 日発行

三重県民生委員児童委員協議会 児童福祉委員会

桑名市	水谷 みね子	いなべ市	川瀬 隆	四日市市	稲垣 芳則
鈴鹿市	永戸 正勝	鈴鹿市	林 和枝	津市	丸橋 恒子
松阪市	川口 常美	伊勢市	松本 誠	志摩市	岡 泰子
伊賀市	中森 あつ子	伊賀市	小川 典子	名張市	田中 耕造
多気町	小林 香代子	紀北町	松永 幸也		

